市長とのかがやきライフトーク

と　　　き：平成１９年７月１８日（水）
と　こ　ろ：興文地区センター
対 話 団 体：興文地区センター運営委員会（２０名）
対話テーマ：明るくて楽しくすごせる興文の街づくり

【対話内容】

【委員会】
　大垣市は、これまで、俳都、奥の細道むすびの地としてＰＲしており、県内外から多くの観光客の皆さんに来ていただいています。
　そうしたなか、現在の奥の細道むすびの地記念館では、貧弱ではないでしょうか。
　将来的な見通しを教えてください。

【小川市長】
　奥の細道むすびの地記念館は、総合福祉会館に間借りしている形になっています。
　奥の細道にゆかりのあるまちで、もっと立派な記念館を所有しているところもあります。
　戦争での焼失などもあり、記録資料等が多くないことも課題です。
　いずれにしても、奥の細道むすびの地にふさわしい整備を進め、大垣市のシンボルとなるとよいですね。

【委員】
　興文地区は、大垣市の中心にあたることから、さまざまな生活基盤等がよく整備されていると思います。
　今後のまちづくりを考える上では、新しい名所ができると良いと思います。
　例えば、美しい水門川の整備はもとより、船町の桜のように、桜並木があると良いと思います。

【小川市長】
　船町の桜も老木が多くなってきていますので、順次更新していかなければなりません。
　船町周辺は、舟下り芭蕉祭の際には、天気が良く、桜の開花と合えば、素晴らしい景観となります。
　四季の里という名の通り四季折々の花で楽しむのもよいですし、１つの花に特化して整備するのも良いと思います。
　水門川周辺は、地域の皆さんをはじめ、青年団体の皆さんなどに清掃活動していただいており、大変助かっています。
　周辺整備も大切ですが、流れる水もきれいにしていきたいと思います。

【委員】
　大垣城は、まちのシンボルですが、老朽化が進展していると聞いています。
　大垣城郭整備ドリーム構想や、今後の整備の見通しについて教えてください。

【小川市長】
　現在、大垣城は、白壁が崩れたり、瓦が落ちたりしており、老朽化が進んでいます。
　建設当時は、コンクリートは永遠だと思っていたと思いますが、現実は異なり、かえって、木造建築のほうが長持ちしたのかもしれません。
　大垣城郭整備ドリーム構想は、市民委員会を設置して検討しました。
　再建には、市民の皆様の浄財を集めることが考えられます。
　また、部分的にでも、お堀や白壁を再現、復元できると良いと思っています。
　大垣城を含め、大垣の歴史、文化の薫るまちづくりを進めていきたいと思います。

【委員会】
　興文地区センターの利用数は、年間１７００件あり、利用者は、２０，０００人を超えています。
　こうしたなか、時には、興文地域の団体が利用できないこともあり、和室がもう少しあるとありがたいです。
　また、駐車場が少なく、日中は保健センターが優先されています。
　今後の整備計画等について教えてください。

【小川市長】
　先般、川並地区センターが完成しました。
　市内には、センター自体が無い地区もあり、建替えについては、まだ順番待ちの状況です。
　また、新しく完成したセンターの方が施設が充実しており、はやく建替え計画を推進して欲しいとの要望も聞いています。
　しばらくは、順番待ちでお願いしたいと思います。
　興文地区には、スイトピアセンターもあり、利用、活用してください。

【委員会】
ゴミの集積所に来るカラスで困っています。
網の色を黄色にするなど、努力をしていますが、自分のところから追い払うと、別のところに行くだけですね。
ハトの糞害は減ってきているように思いますが、市役所の屋上などにハトが巣をつくっているのではないでしょうか。
イヌやネコの糞も問題となっており、マナーの向上が必要だと思います。
何か良い方法は無いでしょうか。

【小川市長】
駅前通りも確かに、鳥が多いようです。
まちの中では、少ない緑に多くの鳥が群がる構図になってしまいます。
野鳥と緑のバランスのとれた整備が必要ですね。
市役所の屋上の巣などカラスの対応については、検討させていただきます。

【委員】
先日、放置されていたＴＶについて連絡したら、直ぐに対応してもらえたので大変感謝しています。
また、本来なら、地域の住民が自分達で掃除するべきなんでしょうが、定期的に、市の職員の皆さんが､清掃活動をしてもらえているので､これも大変感謝しています。
さまざまな取り組みは、短期的な対応よりは、長期的な視点での対応、取り組みとしてもらいたいです。

【小川市長】
長期的な視点に立ったまちづくりは大切ですね。
しかし、近年は、社会経済情勢の変化は早く、長期的な取り組みが非常に難しくなっています。
５０年、１００年先を見据えたまちづくりを進めていきたいと思います。

【委員会】
奥の細道むすびの地や大垣城に多くの観光客に来てもらうには、観光バスの駐車場が少なすぎると思います。
鉄道や路線バスだけで来てもらうだけでは、限界があります。
お城の周辺に大型バスの駐車場があると良いですね。
大垣市は、古いまちで、資源はあると思いますが、観光が弱いと思います。
高山市のような立派な館は無理でしょうが、三両軸だけでも展示できる館があると良いのではないでしょうか。伝統文化の継承にも役に立ちます。

【小川市長】
大垣まつりの時は、軸を見に来る方で賑わいます。
郷土館はありますので、他に、先人顕彰館があるといいですね。
大垣まつり、十万石まつり等をあわせた「まつり会館」があるといいですね。

【委員会】
　美濃路などもあり、１時間でも観光客に滞留してもらえるような施設整備等がなされるとよいと思います。

【小川市長】
　古い建物などの財産は、大切に継承していかなければなりませんが、どこも後継者の問題があります。
　世代交代で売られてしまったり、建替えられてしまったりしては、非常に残念です。
　美濃路や中山道では、補助制度を設けていますが、いま少し盛り上がりに欠けています。

【委員会】
　子育て日本一を目指しているとの話でしたが、大垣は、古くから、学者のまちでした。
　近年、学校の先生は、非常に忙しく、勉強を教えるだけで、十分に子ども達に接したりする時間が無いのが現状のようです。
　芭蕉などの観光振興も重要ですが、学者のまちとなるような教育をお願いしたいと思います。

【小川市長】
　補助講師を入れるなど、教育の向上に取り組んでいるところです。
　完全週休２日となって、先生達は、忙しくなったのではないかと感じています。